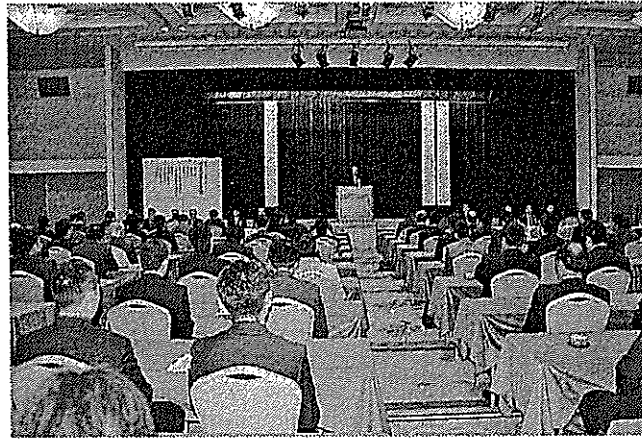


九建日報

発行所

株式会社 九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表 092(431)5361番
FAX 092(431)7613番
購読料 1ヶ月6,300円

研究成果発表会を開催 日本建設技術グループ



【佐賀】日本建設技術(株)グループ(本社・唐津市北波多、原裕社長)は4日、平成21年度の研究成果発表会Ⅱ写真Ⅱを唐津シーサイドホテルで開催した。発表会ではガラス廃材を再利用した「ミラクルソル」の有

効性や水産養殖用ろ過材の販路拡大に向けた取り組みなどを紹介し、更なる商品開発、新たな分野への展開に期待を寄せた。発表会には唐津市の坂井俊之市長ら多くの来賓と全社員が出席。原社長は「昨

年秋口からの世界的な景気後退で業界も厳しい経営環境に置かれている。競争に勝ち抜くためには技術力の向上が不可欠で、新しい技術や工法を開発し、国内外に情報を発信していききたい。また、「環境」が大きなキーワードとなる中で、ミラクルソルを活用した緑化工法や環境土木工法などを提案している。世界に通用する技術と想っており、更なる普及の拡大を図るとともに新たな分野への進出にも挑戦していきたい」と述べた。

6回目となる研究成果発表会では▽吸水性ミラクルソルの有効性について(緑化・舗装)▽水産養殖用ろ過材「クリスタルバイオ」の経過報告▽2008年のあゆみとFWG・グリーンパイプメント工法Ⅰの3テーマで原社長、地盤環境研究室の牛原裕司氏、材料研究室の落合一明氏が発表。緑化や舗装工事で吸水性のミラクルソルを活用した施工事例を参考に路面温度を抑制した測定結果や植物の成長を助成した試験結果を報告したほか、水産養殖用ろ過材「クリスタルバイオ」の販路拡大に向けた今後の取り組みなどを紹介した。最後に佐賀大学低平地研究センター長の荒木宏之教授が講評し、「先を読んだ取り組みで環境という新しい分野に進出し、今後は社員一人ひとりが新たな方向性を考え、技術を売りこんでいかねばならない。技術を売れる会社として積極的な挑戦を期待している」と述べた。